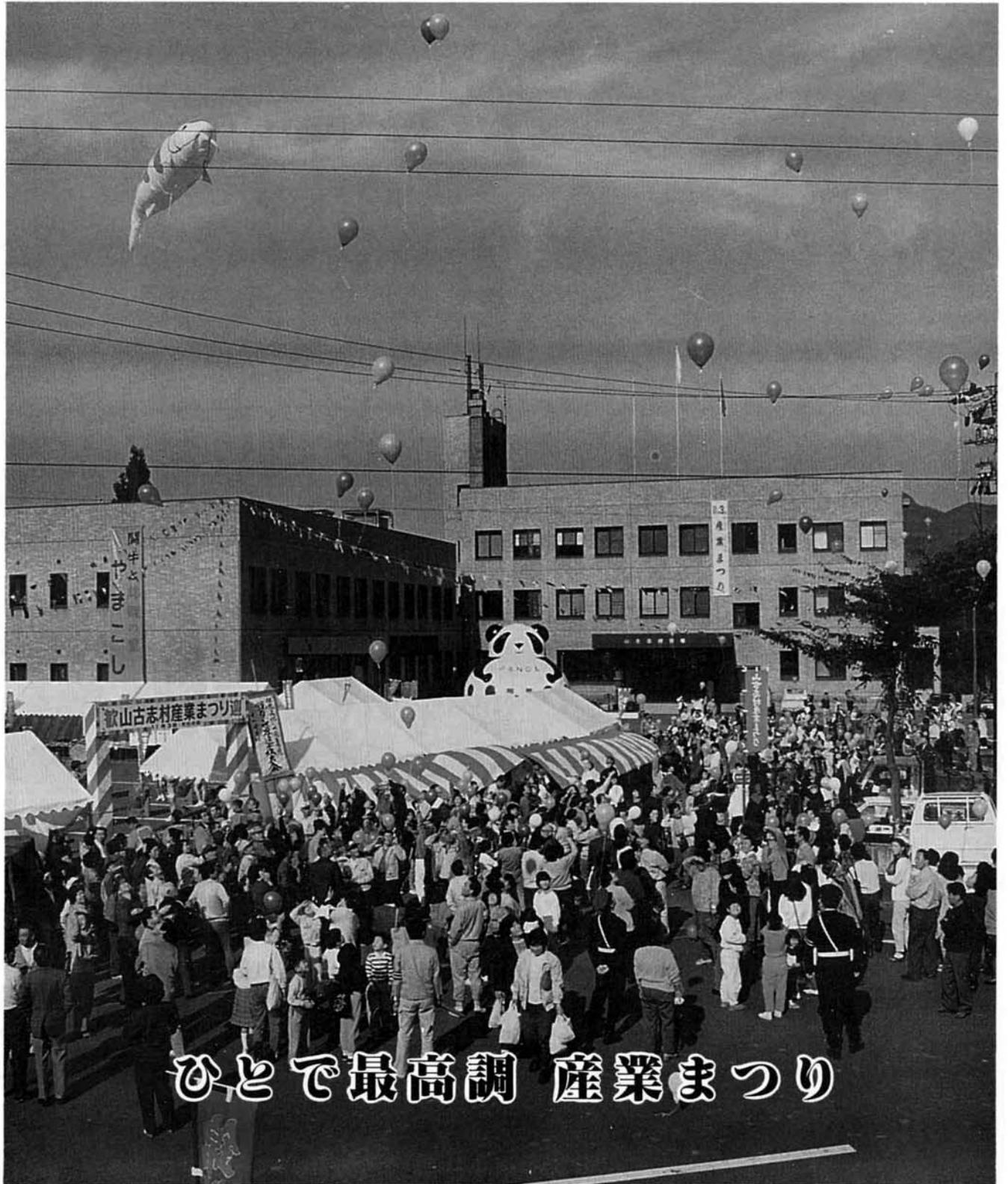


■発行／山古志村役場 947-02 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙461 □(0258)59-2330代 ■編集／総務課 ■印刷／大川印刷株式会社 ■12月1日発行



人口の動き
(3.10.31現在)

■人口 2,909人(△8) 男 1,467・女 1,442 ■世帯数 795(±10)
■10月中のうごき 口出生1 口死亡5 口転入5 口転出10

冬仕度万全

みなさんのお宅では“冬仕度”はもうすっかりお休みでしょうか。村でも道路の除雪・圧雪計画をたて、これに基づき各区長さんをはじめ関係者を招集して除雪会議を開催し、万全の備えをしています。

新潟地方気象台が11月20日発表した北陸地方3か月予報によれば、12月から1月は冬型の気圧配置が長続きせず、暖かな日が多い。2月には一時大雪の恐れはあるものの、後半は寒気が緩むと、今冬も暖冬、少雪の見通しとしています。しかし、“油断は禁物、雪ばかりは過ぎてみなければなりません。

11月24日夜から初雪にみまわれ、25日朝には10cm積りました。いよいよ冬本番となります。

狭い雪道ゆずりあって事故のない冬を過ごしましょう。



今年購入したロータリ除雪車(300馬力)

除雪・圧雪作業は非常に安全に行わなければなりません。そのためには特に沿線の皆さんには何かと迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、みなさんのご協力をお願いします。除雪・圧雪計画の主な内容は次のとおりです。

△除雪・圧雪体制＝村の除雪隊オペレーターは十二名で編成されほかにロータリ車四台と雪上車一台を委託運行します。

機械力はロータリ車三台、タ

イヤドーザー一台、雪上車四台で

す。

△除雪路線＝国道二路線十三・六km、県道六路線二十二・六km
291号(竹沢三差路～間内手)
虫巻南荷頃線(虫巻地内)
竹沢塩谷線(竹沢地内)

大久保土建
種芋原出張所
59-2238

352号(種芋原地内)
杣尾山古志線(池谷～田代)
柏崎高浜堀之内線
(桂谷～木籠)
南平小平尾線(楳木地内)
水沢新田種芋原線
(種芋原地内)

大久保土建
種芋原出張所
59-2924

291号(竹沢三差路～小松倉)
柏崎高浜堀之内線
(虫巻～十二平)
杣尾山古志線
(桂谷～竹沢三差路)

大久保土建
59-2206

午後五時以降も降雪状況を見ながら除雪を行なう予定です。
公共施設を通ずる路線で、除雪、積雪状況を検討しながら行ないます。

村道は、部落内の重要路線及び路線の分担は別表のとおりです。

○除雪作業がスムーズに進められるよう、次の点にご協力ください。

○冬期間は集落内の国・県道、村道はすべて「駐車禁止」となります。

○除雪により皆さんの出入り口をふさぐことがありますので、各自で出入り口を確保してください。

○道路沿いの、越冬池・イケス等の施設の所には赤色等の布で表示し、事故防止にご協力ください。

○除雪路線沿いの家で雪降しをする場合は一齊作業するようにしてください。

○除雪作業中の機械は大変危険ですので人・車とも指示があるので絶対に近づかないでください。ナタレにより通行できない場合などは、それぞれの担当者に連絡ください。

雪に強い村づくりを

ご協力をお願いします

人づくり事業で オーストラリアに



▲グラハム夫婦と研修生のみなさん

九月六日新潟ワシントンホテルで行われた壮行会で、県内の十七人の仲間が期待と不安の胸を膨らませて集まり、オーストラリアという遠い未知の国に団員一丸となっていざ、オーストラリアへと出発。この日は、移動日で翌日の朝六時四十五分にシドニーに着いた。

新潟県青年リーダー養成海外研修を受けた星野文孝さんは、九月六日から十七日かけて、新潟県主催の青年リーダー養成海外研修でオーストラリアを訪れました。

新潟県青年リーダー養成海外研修オーストラリア班に参加してから二か月半が過ぎてしまい、遠い出来事のように感じている。

今回の研修では、今まで行ったことのない海外ということもあって、見たり聞いたりしたことが、

すべて新鮮で期待と不安の中での貴重な体験が出来た十二日間でした。

で行われた壮行会で、県内の十七人の仲間が期待と不安の胸を膨らませて集まり、オーストラリアという遠い未知の国に団員一丸となっていざ、オーストラリアへと出発。この日は、移動日で翌日の朝六時四十五分にシドニーに着いた。

日本人の多さに驚くばかりで、本当に外国に来たのかと思わされた。

やはり、日本人の海外旅行は、年々増えており、主要都市には、日々増えており、主要都市には、日々

日本人を受け入れる体制が整えられ

ていることが強く感じられた。

シドニー一泊後、いよいよ研修の始まりで、南オーストラリア州のカンガルー島へと移動し、ビボン湾野外研修センターで二泊二日

の研修を行った。自然その物のすばらしさを痛感させられたような

気がした。ここでは、生きた大自然の中での研修という言葉があつた

まると思う。時間を見切ることも

で、島のあちこちをバスで移動した。

ここでは、施設見学と地元青年との交流会・班別研修・ホームステイが行われた。

施設見学は、クレネルグ市役所

ブライティングネルグコミュニティセンターや、日本オーストラリア州

市役所を訪れ、市長を表敬訪問。

非常にすばらしい、コミュニケーションサービス制度の説明を受け、感銘

動した。

この頃になるとさすがに日本食について」をテーマとしたがオーストラリアは、移民の国であり、伝統料理等をさぐることは、困難

また、ボランティア活動に対する考え方方が今の日本とは、大きく違つていて理解し、積極的に参加する人が非常に多いことが印象に残っている。日本は、やはり福祉に対する取組が足りないと思つし、心のゆとりがないため理解出来ない面も多いのではないかと思う。

他の三つの施設についても、高齢者が集まつて、物を作つたり、売つたり、ゲームをしたりとすばらしい施設であった。とにかく、

利用していた人たちはとても明るく生き生きとしていたのがうれしかつた。

この夜、地元青年との交流会が行われ、下手な英語で何とか会話となり楽しい交流会ができた。や

はり英会話には、不安が常につきまとつてはいたが、理解してもらえるかどうかは別にせつから機会を入れた。地元青年たちの、下手な英会話を理解してくれようとする気持は、とても暖かく感じられました。

翌日から一日間は班別研修を行つた。

この頃になるとさすがに日本食について」をテーマとしたがオース

ーストラリアは、移民の国であり、伝統料理等をさぐることは、困難

であり食べ歩きをした中で食文化について研修した。

この頃になるとさすがに日本食について」をテーマとしたがオース

ーストラリアは、移民の国であり、伝統料理等をさぐることは、困難

村政功労者を表彰

十一月三日（文化の日）に、役場で村政功労者の表彰式が行われました。

この式典は、村のほう賞条例に基づくもので、今年は教育の向上や体育の振興など、各分野で活躍された、個人六人と一団体が表彰されました。

この日、表彰された方々に対しても、一人ひとりにそれぞれの功績をたたえ、表彰状と記念品が贈られました。

村長からお祝いと感謝が述べられました。以下受彰された方々は次のとおりです。（敬称略）

（教育委員会委員会永年勤続表彰）川上 二司（種芋原）

（山古志村商工会役員として二十年以上在職し、産業の振興に尽された）長島 源佐（虫集）

（産業振興永年勤続表彰）小川栄久雄（竹沢）

（体育の振興永年勤続表彰）

（消防団員として二十年間 在職し、消防防災に尽くされた）

ともに歩み25年

銀婚式に

10組のカップル

十一月二十二日（勤労感謝の日）

に、簡素に銀婚式が村教育委員会、公民館の主催で村民会館で開かれました。

今年、銀婚式の成人講座の対象者は一八組ですが、この講座には十組の夫婦が参加されていました。

今年、銀婚式の成人講座の対象者は一八組ですが、この講座には十組の夫婦が参加されていました。

講座は式典を含め五回にわたり行われ、講師に長岡市川崎公民館長の植村敬一さん（講演：気軽に旅の楽しい旅行のしかた）など、四回の講演を受講されて、この式典に臨まれたかたがたです。

村長の「五年の歳月をお一人で、いろいろな苦難といろんな想い出を秘めながら、今日を迎えた皆様方にからお祝い申し上げます。健康に留意され、二五年後の金婚式を迎えられますように願っています。」の式辞で始まり、それぞれに記念品の贈呈が行われました。

つづいて来賓の方々から、お祝いや激励の言葉が贈られていました。

そして、受講者を代表して畔上孝さんが誓いの言葉を述べられ、式を終了。

その後のアトラクションでは、

金内英夫・ハリイさん

湯本忠男・とし子さん

桜沢善一・トシさん

星野勝利・タカ子さん

星野芳美・信子さん

藤井泰夫・芳枝さん

増田 博・ヨエ子さん

小川晴司・クニ子さん

クラシックな弦楽四重奏が披露され、愛のよろこびなどの四曲を聞き入っていました。この銀婚式に参加された方は次

の通りです。



▲フィリップさん一家と星野さん

やまこし

福祉

No. 5

平成3年12月1日

編集・発行

社会福祉法人
山古志村社会福祉協議会
〒947-02
古志郡山古志村大字竹沢乙461
山古志村役場内
☎ (0258) 59-2332
印刷 大川印刷株式会社



「にこにこ会」を 「そんじですか?

脳卒中後遺症者をはじめ、家に閉じこもりがちな人を中心に昨年2月から集いました。現在、会員21名が各地区から集まっています。そして会員を支えているのが、ボランティアさんです。現在16名が交替で参加しています。

この会の名称が素敵でしょ?みんなで決めたものです。この名には「ここに集まるどみんながにこやかにでき、そして毎日をにこに過ごせるように」という思いがこめられています。

会の内容は、月一回程度の集まりで、午前10時から午後2時の4時間軽い体操やゲームで体を動かしたり、折り紙や卵の殻で作品を作ったりしています。昼食は食生活改善推進員さんが作る心こもった手料理をみんなで食べるからおいしくて楽しみの一つになっています。お天気の良いときはバスで戸外に出たりしています。

その中で今回、11月の文化展に共同作品としてとりくんだのが、「錦鲤」と「みんなのがい」です。ご覧くださいましたか?一時は完成するのか不安でしたが、力を合わせればできるという満足感でいっぱいです。

これからは、会員同志互いに支え合い、誰が来ても暖かく迎え入れられる会にしたいと思います。



12月1日から12月31日まで歳末たすけあい募金が行われています。クリスマスやお正月はだれでも楽しく迎えたいものです。しかし病気などでそれができない人もいます。あなたがいま「幸せだなあ」と思つたらその気持ちを分かちあい、歳末たすけあいに寄せてみませんか。

12月1日から12月31日まで歳末たすけあい募金が行われています。クリスマスやお正月はだれでも楽しく迎えたいものです。しかし病気などでそれができない人もいます。あなたがいま「幸せだなあ」と思つたらその気持ちを分かちあい、歳末たすけあいに寄せてみませんか。

12月1日～25日 NHK海外たすけあい

12月1日から25日まで「NHK海外たすけあい」が実施されます。

今年で9回目となるこのキャンペーンでは、自然災害や戦争・紛争等による緊急援助事業及び発展途上国を対象とした開発協力事業の充実、発表に役立つることにしています。

昨年のイラクのクウェート攻撃にはじまった湾岸戦争東欧諸国の民族間紛争の激化、フィリピンのピナッホ山噴火、中国やカンボジアの洪水、さらに危機的状況をむかえているアフリカの干ばつ等々、自然災害などの多発に大きな苦しみは切目なく襲いかかってきます。

そのような中で援助の手を必要としている人々に本当に必要な物資や資金を届け、医師や看護婦などの人材を派遣して自立の手助けをするため、総額10億円の救援事業を計画しています。

皆様の暖かいご協力を願い申し上げます。

義援金の受付窓口は次のとおりです。

全国の郵便局、銀行、農協、漁協、NHK各放送局、赤十字の各施設、市町村の日赤地区・分区（日赤山古志村分区）となっています。

1世帯の募金目標額は500円

山古志村に住む人たちが安心して年を越し、明るいお正月を迎えるように、みなさんのあたたかいご協力を願いたします。

本年の県民福祉大会は「進めよう新潟県社会福祉計画を」「福祉の手あなたが主役」をスローガンに去る10月16・17日、長岡市立劇場を主会場に、盛会に開催されました。ここで、多年にわたり、社会福祉の増進に尽力された方に対し、県知事などの表彰が行われ当村から、酒井省吾氏が個人功労者（13年以上にわたり共同募金運動に協力し、功績顕著なもの）として県共同募金会会長表彰を受けられました。また、酒井氏は、全国社会福祉大会でも表彰されました。おめでとうございます。

12月9日は「障害者の日」です

身体障害者福祉週間（12月9日～12月15日）

●手足の不自由な人には

大きく口を開けて、はつきりとジェスチャーを交えながら、ゆっくりと話してください。それでもわかつてもらえない時には、手のひらや紙に文字を書きます。

●耳の不自由な人には

大きく口を開けて、はつきりとジェスチャーを交えながら、ゆっくりと話してください。それでもわかつてもらえない時には、手のひらや紙に文字を書きます。

●目の不自由な人には

案内する時は白い杖の反対側に立つて腕を貸し、その半歩前を歩いてください。

●ちえおくれの人には

話しかける時はわかりやすいことばでゆっくりと、ていねいに話してください。

●住民の方から声が上がり、社会福祉協議会をお願いしてきました。アルミ缶、アルミ栓、牛乳パックの回収ですが、集まつてくるこれらの物の置き場がないことや、引

きとりにきてもらう「回収業社がみつからないことがあります。収集を一時中止することになりました。集めてくださったみなさんありがとうございました。当分の間、(冬期間)近隣市町村で行っているスーパーや商店へお持ち下さい。

「障害者の日」は昭和50年の12月9日に国連で「障害者の権利宣言」が採択されたことにちなみ、「どうやってお手伝いしたら、いいですか」とます声をかけました。たとえば階段では、2、3人がかりで、上がる時は車いすを前むきに、下がる時には後ろ向きにして、車いすの人が落ちないように静かに運びます。

人ひとりが障害のある人を正しく理解するとともに、障害者も積極的に社会活動を行うことにより、昭和56年の国際障害者年に設けられた「障害者福祉の増進を図ろうとするものであります。

●手足の不自由な人には

「どうやってお手伝いしたら、いいですか」とます声をかけました。たとえば階段では、2、3人がかりで、上がる時は車いすを前むきに、下がる時には後ろ向きにして、車いすの人が落ちないように静かに運びます。

人がかりで、上がる時は車いすを前むきに、下がる時には後ろ向きにして、車いすの人が落ちないように静かに運びます。